

県内の戦略的食品加工場の連携で、大手流通業者へ特産ドレッシングを納入

深浦町食産業振興公社(深浦町)／まごころ農場(弘前市)

青森県に近年設置された戦略的食品加工場の両社。深浦町公社は「雪人参」素材等の1次加工、まごころ農場は様々な加工食品の最終加工、多彩な小ロット生産設備が強み。

1. 相談のきっかけ

【深浦町公社とのやり取り】

- ・深浦町公社の取り組みを大手流通業者に紹介。
- ・「雪人参ドレッシング」について、流通業者(販売先は約100店舗を予定)が地域特産新商品の野菜サラダ添付用として興味を持った。
- ・ただし、納入には①「小袋包装(数10ml)」、②「小ロット対応(10,000個単位)」が必要。
- ・流通業者で調査したが、この条件に対応できる食品加工場は全国にほとんどない状況だった。

2. 課題整理・分析

【課題】

- 1) 製造
 - ①対応できる食品加工場の選定。
 - ②小袋包装工程の安定稼働。歩留まり向上。
- 2) 品質管理
 - ③大手流通業者のしくみに対応できる品質管理のしくみづくり、品質規格の設定。
- 3) コスト
 - ④「雪人参ドレッシング」の原価計算(特に小袋包装工程)

3. 解決策の提案

【解決策】

- 1) 製造
 - ①: 6次産業化事業で小ロット／小袋包装設備を導入した、まごころ農場を紹介。
 - ②: 21あおり産業総合支援センターの専門家派遣事業で専門家を派遣。
- 2) 品質管理
 - ③: 担当コーディネーター(CO)が専門性を活かして、よろず相談会等で支援。
- 3) コスト
 - ④: 担当CO、サブコーディネーター(SCO)が専門性を活かして、よろず相談会等で支援。



4. 成果

【解決策実施の結果】

1) 製造

- ・6次産業化事業で小ロット／小袋包装設備を導入していた、まごころ農場との連携にて事業化を行うこととした。
- ・21あおり産業総合支援センターの専門家派遣で首都圏の食品工場の生産技術の専門家(食品メーカーOB)を派遣し、充填ラインの細かな運転ノウハウ等をアドバイス。最大の課題であった安定稼働、歩留まりの向上に至った。

2) 品質管理

- ・担当CO(食品メーカーOB)が専門性を活かして、よろず相談会等で支援。担当者とともに品質規格書を取りまとめ、大手流通業者の厳しい納入条件をクリアした。

3) コスト

- ・担当CO、SCO(中小企業診断士)が専門性を活かして、よろず相談会等で支援。精緻な原価計算を実施し、その結果から、深浦町公社、まごころ農場の両社が必要な利益を確保できる販売価格の設定までをアドバイスした。

【成果】

- ・2014年11月発売。販売は順調。当初予想の2倍のペース(計10,000個／月以上)で推移。
- ・まごころ農場では今後、他地域の特産ドレッシングの受託加工も可能となった(第2弾以降の計画も進捗中)。

【本事業を支えた地域のしくみ(戦略的食品加工場)】

- ・県内での、①原料供給、②1次加工、③委託加工のしくみづくりが本事業の実施、成功につながった。

